

ボリビア多民族国
保健スポーツ省
ベニ県

ボリビア多民族国
ベニ県北部地域保健医療施設改善計画
協力準備調査報告書

JICA LIBRARY



1201279 [5]

平成 22 年 12 月
(2010 年)

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)

システム科学コンサルタンツ株式会社
株式会社梓設計

人間

JR(先)

10-069

ボリビア多民族国
保健スポーツ省
ベニ県

ボリビア多民族国
ベニ県北部地域保健医療施設改善計画
協力準備調査報告書

平成 22 年 12 月
(2010 年)

独立行政法人
国際協力機構 (JICA)

システム科学コンサルタンツ株式会社
株式会社梓設計



1201279 [5]

序文

独立行政法人国際協力機構は、ボリビア多民族国のベニ県北部地域保健医療施設改善計画に係る協力準備調査を行うことを決定し、平成21年8月から平成22年12月まで、システム科学コンサルタンツ株式会社及び株式会社梓設計から構成される調査団を組織しました。

調査団は、ボリビアの国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地踏査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終りに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成22年12月

独立行政法人国際協力機構
人 間 開 発 部
部 長 萱 島 信 子

要 約

要 約

ボリビア多民族国（以下、ボ国と称す）は、国連開発計画（UNDP）の「人間開発報告書（2009年）」によると人間開発指数（HDI）が世界182ヶ国中113位、中南米諸国33カ国中29位に位置する開発途上国である。2006年に発足したエボ・モラレス政権下において、保健・スポーツ省が策定した5ヵ年保健計画の「中期制度改革計画2006-2010年（Plan Institucional de Mediano Plazo 2006-2010）」では、「より良い生活を：尊厳あり、主権を持つ、生産的かつ民主的なボリビア」を基本理念として政策5カ条5戦略が打ち出されている。この計画において同省は、国民の77%が経済的・地理的、文化的・社会的な障壁によって保健医療サービスにアクセスできない状況に置かれており、その結果、予防可能な感染症による5歳未満児死亡、妊産婦死亡、マラリア・結核等の感染症の発生が極めて高い水準にあるとして、先住民・僻地住民、貧困層に対する公平な保健サービスへのアクセスを保障する保健システムの構築を目指している。

一方、地方分権化法により、ボ国各県の開発計画には保健医療政策が含まれるようになっている。ベニ県では、現在施行中の「ベニ県社会経済開発5ヵ年計画（Plan de Desarrollo Departamental Económico y Social 2006-2011）」において以下の項目が掲げられ、保健医療サービス・ネットワークの強化のために、特に、保健予算と医療人材の適正・効率的な配分、保健医療施設の効率的な運営、ならびに各種健康保険の運用拡大等を重点的に進める姿勢が示されている。

- ・県の保健医療サービス・ネットワーク強化
- ・医療人材の人口に見合った配分
- ・ユニバーサル母子保険（SUMI）とユニバーサル自治健康保険（SUSA）のカバー率拡大
- ・種々の医療機関の整理統合化
- ・移住人口に見合った医療人材の増加
- ・医療施設・機材に係るプロジェクトの統合による合理的な運営
- ・感染予防プログラムの拡大
- ・優先予防接種キャンペーンの実施
- ・1次医療に携わる医療人材の能力強化
- ・性感染症、家族計画、リプロダクティブヘルスに係る啓蒙活動の普及
- ・巡回医療による過疎地への保健医療サービスの拡大
- ・多文化間ギャップを埋める保健医療サービスの倫理的、質的改善の促進
- ・伝統医療への科学的アプローチによる保健医療サービスへの適用

ベニ県に対して、我が国は、2001年6月より約1年8ヶ月の期間、ベニ県4郡（セルカド郡、モホス郡、マモレ郡及びバカディエス郡）を対象とした開発調査「ベニ県地域保健医療システム強化計画調査」を実施して、「特異な自然条件による医療施設へのアクセスの困難性」「人的資源配分の偏り」「医療施設規模と医療従事者数の乖離」及び「医療施設の運営・管理能力の低さ」等、多くの問題点を確認し、その分析結果を基に、2010年を目標年次としたマスタープランを策定した。同マスタープランの地域別計画では、ベニ県を北部地域、中部地域、サテライト地域及び河川沿岸地域の4地域に分類し、医療サービスへのアクセス性改善、および医療サービスの質的改善に係る計画方針を提示した。

2005年、ボ国政府は特に中部地域とサテライト地域を重点地域として捉え、我が国に無償資金協力による「ベニ県南部地域医療保健施設改善計画」の実施を要請し、セルカド、モホスおよび

マモレ 3 郡の病院、保健所・診療所、准看護学校に対する施設の建て替え、新設及び機材調達ならびに医療従事者の教育訓練を実施した。

このような過程を経た後、ボ国政府およびベニ県は、2007 年 8 月、引き続きマスタープランの地域別計画のうち、「北部地域」（ヴァカ・ディエス郡）を対象として、病院、保健センターを改善すべく、建設建設および医療機材調達に係るプロジェクトの実施を我が国に要請した。

当該要請を受けて、我が国は本計画の協力準備調査を実施する旨を決定し、独立行政法人国際協力機構（JICA）は、2009 年 9 月 10 日から 10 月 8 日まで、さらに、2010 年 2 月 21 日から 3 月 19 日まで協力準備調査団を派遣し、保健スポーツ省、大蔵省公共投資対外経済協力局、ベニ県をはじめとする関係者との協議を行うと共に、調査対象施設のサイト状況調査及び必要な情報の収集を行った。その後、現地調査結果を踏まえて基本方針を取りまとめ、本報告書を作成した。

当初要請内容は、リベラルタ市、グアヤラメリン市における総合病院 1 施設の移転・新築／機材調達、一次医療施設 6 施設（2 保健センター、4 保健ポスト）の新設／機材調達、ならびに既存 10 施設（総合病院 1 施設、一次医療施設 9 施設）への機材調達を対象とするものであった。

その後、一次医療施設 6 施設の新設（施設建設・機材調達）の要請を調査対象外とする一方、既存一次医療施設への機材調達については、保健ポスト（PS）を調査対象外とし、主として市街地の保健センター（CS）を中心とする 21 施設（リベラルタ市では市街地で 10 施設、郡部で 1 施設、グアヤラメリン市では市街地で 8 施設、郡部で 2 施設）を調査対象とする事前調整が行われた。更に、現地調査中に一次医療施設 1 施設を対象外とし、また、グアヤラメリン総合病院から小児科・産婦人科が母子病院として独立したことにより、追加調査が要望された母子病院 1 施設を加えた 23 施設を調査した結果、その内の 20 施設が最終要請対象とされた。

これらの要請対象施設に関し、ボ国側と合意した協力対象施設選定基準に基づき現地調査結果を検討した結果、老朽化に伴う機能の低下が懸念されるリベラルタ総合病院の移転・新築・機材調達、グアヤラメリン総合病院とグアヤラメリン母子病院の診療機能の向上のための機材調達を計画対象に選定した。

本計画におけるリベラルタ総合病院の計画規模の設定にあたっては、要請内容を踏まえ、ボ国における地方病院の施設基準、我が国無償資金協力のコチャバンバ母子医療システム強化計画により建設された母子病院・保健センター（2001 年）、ベニ県南部地域医療保健施設改善計画によりサン・ラモン、サン・ホアキンに建設された県病院増築棟、および日本の医療施設基準を参考とした。

機材計画の立案に当たっては、各々の施設業務範囲に準じて、医療機材の仕様・数量を計画した。特に、本計画で整備される機材は、一般 X 線撮影装置・超音波診断装置等一部の医療機材を除いてメンテナンスが必要な医療機材は少なく、また、既存機材の多くは近隣国であるブラジル、アルゼンチン、米国から輸入され、ボ国の多くの医療施設がこれらを利用しているため、現地調達が可能なものを中心に選定し、納入後のアフターケアの容易化を図ることとした。以下に本計画の施設規模・概要及び主要機材リストを示す。

本計画の施設規模・概要（リベラルタ総合病院）

施設名	諸元	施設内容	延床面積 (m ²)
管理・事務棟	階数：1 基礎：布基礎 構造（柱・梁）：RC造	院長室、事務室、会議室等	148.80
外来診療棟	階数：1 基礎：布基礎 構造（柱・梁）：RC造	診察室、処置室、ソーシャルワーカー室、待合、外来・入院受付、会計、カルテ庫、薬局、調剤・薬品庫、当直室、来院者用便所、多目的便所等	669.60
救急・検査棟	階数：1 基礎：布基礎 構造（柱・梁）：RC造	救急処置室、観察室、待合、ナースステーション、宿直室、理学療法室、来院者用便所、検査室、採血室、採尿室、人工透析室、X線検査室・操作室、現像室、ポータブルX線機器保管庫等	655.34
手術棟	階数：1 基礎：布基礎 構造（柱・梁）：RC造	前室、手術ホール、手術室、回復室、ナースステーション、カンファレンス室、麻酔医控室、医師更衣室、看護師更衣室、洗浄滅菌室、既滅菌機材配出室、医師控室、看護師控室、宿直室、空調機械室、医療ガスボンベ置場等	1,004.40
病棟	階数：1 基礎：布基礎 構造（柱・梁）：RC造	一般病棟（2床室、4床室）、準ICU（2床室）、隔離病棟（2床室、3床室）、感染症処置室、ナースステーション、病棟機材庫、病棟リネン庫等	873.40
サービス棟	階数：1 基礎：布基礎 構造（柱・梁）：RC造	廃棄物集積室、用務員室、掃除具庫、食堂、厨房、厨房事務室、食品庫、プラットホーム・車寄せ、消耗品倉庫、薬品庫、洗濯室、リネン室、洗濯事務室、営繕作業室等	524.52
霊安所	階数：1 基礎：布基礎 構造（柱・梁）：RC造	解剖室、霊安室、遺族室、説明室等	56.42
付帯施設 高架水槽	階数：4 基礎：ベタ基礎 構造（柱・梁）：RC造	ポンプ室、高架水槽等	17.64
その他の 付帯施設	階数：1 基礎：布基礎 構造（柱・梁）：RC造	守衛所、電気棟、渡廊下	307.20
合計延床面積			4,257.32

主要機材リスト

対象施設	計画概要
リベラルタ総合病院	血圧計、超音波診断装置、咽頭鏡、電子耳鏡、視力検査機材、車椅子、ストレッチャー、遠心機、高圧蒸気滅菌器、歯科診療台、歯科用X線装置、エルゴメータ、ウエイト等理学療法用機材、患者用ベッド・点滴台等を含む病棟用機材、移動型X線撮影装置、等
グアヤルキン総合病院	電気メス、輸液ポンプ、成人用アンビュー、X線および移動型X線撮影装置、高圧蒸気滅菌機、整形外科用牽引器、車椅子、等
グアヤルキン母子病院	新生児蘇生器具、パルスオキシメータ、患者監視モニター、麻酔器、外科手術器具、電気メス、双眼顕微鏡、高圧蒸気滅菌機、車椅子、吸引器、ネブライザー、移動型X線撮影装置、等

本計画で実施される病院の施設改善並びに機材整備は、ベニ県の開発計画に示される「医療従事者の技術向上」「保健サービス・ネットワークの再構築」「過疎地病院への専門医配置強化」等の方針に沿っており、同県の脆弱な地域保健ネットワークの改善に大いに寄与するものである。本計画の実施においては、医療従事者と補助要員の増員を必要とせず、施設・機材の運営・維持管理費のみが必要となるが、その予算措置は保健スポーツ省、ベニ県、関係自治体の3者で分担することが合意されており、かつ、ベニ県は関係自治体を予算面で支援する方針であることから、実施上の問題はないと判断できる。

また、本計画の実施により、以下の効果の発現が期待される。直接的には、

- ① 既存老朽病院の建て替えと機材整備による適切な保健医療サービスへのアクセス改善
- ② 既存病院に対する機材整備による適切な保健医療サービスへのアクセス改善

さらに間接的には、

- ① 保健医療サービスの質的向上による裨益者層の健康状態改善
- ② 保健医療サービスの質的向上による医療費財政負担の軽減

以上により、本計画を我が国の無償資金協力事業により実施することは妥当であると考えられる。なお、本計画をより効率的、効果的に実施するための留意点及び提言は以下に示すとおりである。

① 「関係自治体の協力体制の構築」

ベニ県の主導の下、計画対象施設の運営状況を関係自治体が評価・分析し、問題点等の対応策を共同で検討・実施することが望まれる。この体制構築がベニ県の地域保健ネットワークを十分に機能させるための原動力となる。

② 「医療従事者の継続研修」

地理的に隔絶され、多忙な日常の医療業務により医療施設をなかなか離れられない医療従事者には、最新の医療情報を得るための継続教育が不可欠である。

目次

序文

要約

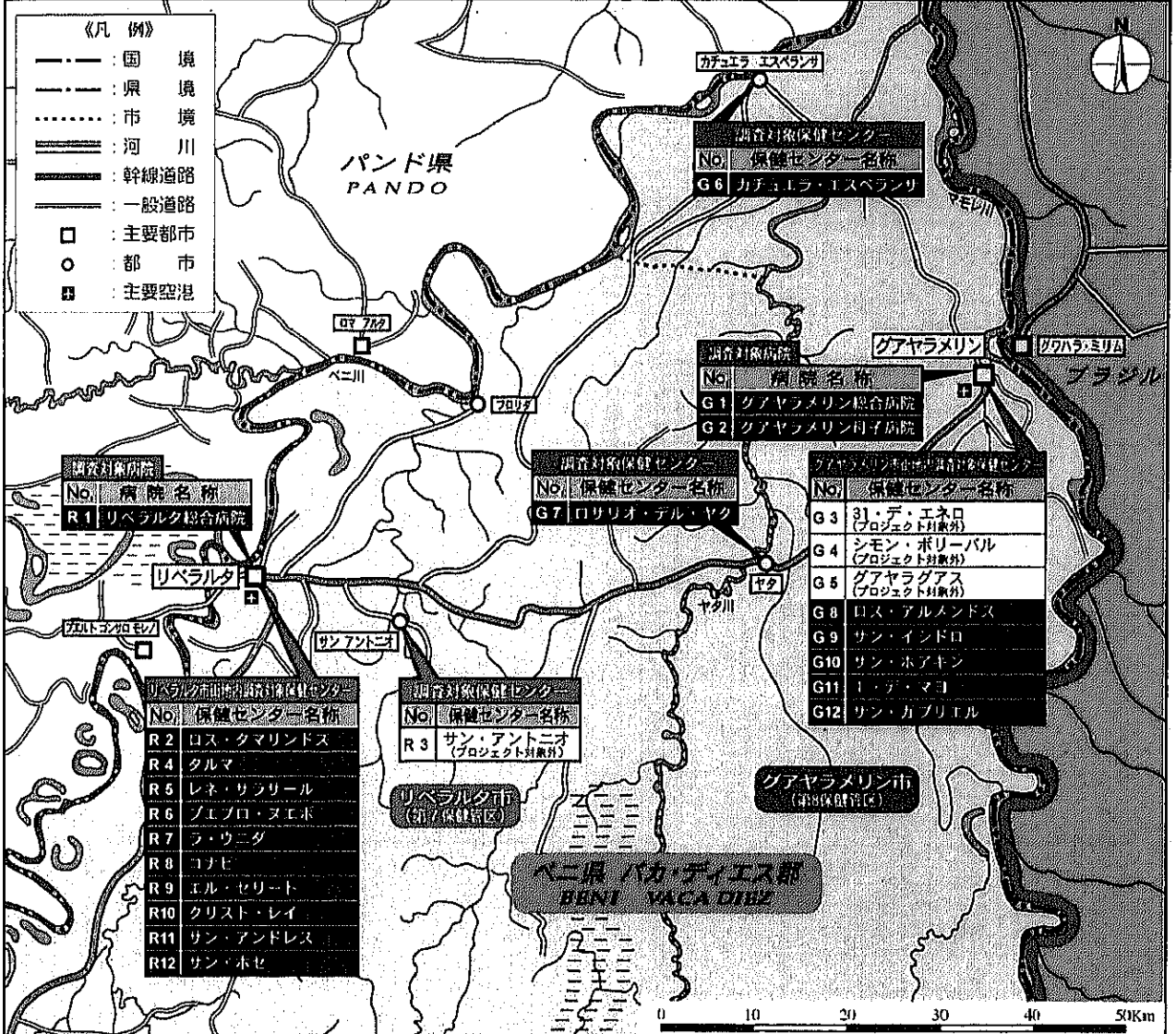
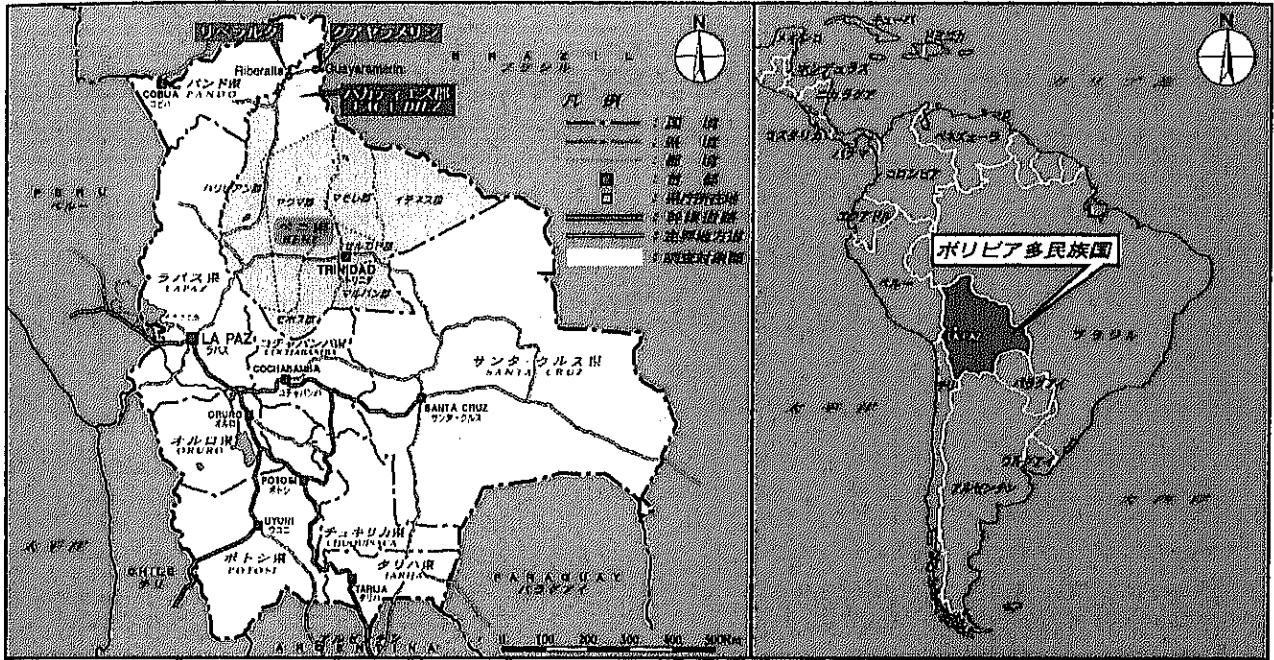
目次

調査対象地位置図／完成予想図／現地状況写真

図表リスト／略語集

第1章 プロジェクトの背景・経緯.....	1
1-1 当該セクターの現状と課題.....	1
1-1-1 現状と課題.....	1
1-1-2 開発計画.....	6
1-1-3 社会経済状況.....	8
1-2 無償資金協力要請の背景・経緯及び概要.....	10
1-3 我が国の援助動向.....	13
1-4 他ドナーの援助動向.....	15
第2章 プロジェクトを取り巻く状況.....	17
2-1 プロジェクトの実施体制.....	17
2-1-1 組織・人員.....	17
2-1-2 財政・予算.....	18
2-1-3 技術水準.....	20
2-1-4 既存施設・機材.....	20
2-2 プロジェクトサイト及び周辺の状況.....	27
2-2-1 関連インフラの整備状況.....	27
2-2-2 自然条件.....	33
2-2-3 環境社会配慮.....	33
2-3 その他（グローバルイシュー等）.....	36
第3章 プロジェクトの内容.....	37
3-1 プロジェクトの概要.....	37
3-2 協力対象事業の概略設計.....	38
3-2-1 設計方針.....	38
3-2-2 基本計画（施設計画／機材計画）.....	41
3-2-3 概略設計図.....	94
3-2-4 施工計画／調達計画.....	107
3-2-4-1 施工方針／調達方針.....	107
3-2-4-2 施工上／調達上の留意事項.....	107
3-2-4-3 施工区分／調達・据付区分.....	108
3-2-4-4 施工監理計画／調達監理計画.....	109
3-2-4-5 品質管理計画.....	110
3-2-4-6 資機材等調達計画.....	111

3-2-4-7	初期操作指導・運用指導等計画	114
3-2-4-8	ソフト・コンポーネント計画	114
3-2-4-9	実施工程	114
3-3	相手国側分担事業の概要	116
3-4	プロジェクトの運営・維持管理計画	120
3-5	プロジェクトの概略事業費	122
3-5-2	運営・維持管理費	122
3-6	協力対象事業実施に当たっての留意事項	122
第4章	プロジェクトの評価	123
4-1	プロジェクトの前提条件	123
4-1-1	事業実施のための前提条件	123
4-1-2	プロジェクト全体計画達成のための外部条件	123
4-2	プロジェクトの評価	124
4-2-1	妥当性	124
4-2-2	有効性	124
資料		
1	調査団員・氏名	A-1
2	調査行程	A-3
3	関係者（面会者）リスト	A-5
4	討議議事録（M/D）	A-9
4-1	討議議事録（第一次準備調査時）	A-9
4-2	討議議事録（第二次準備調査時）	A-34
5	機材配置図	A-73
6	測量・土質調査結果概要	A-76
6-1	測量結果	A-76
6-2	土質調査結果	A-77
7	相手国分担事業の内訳	A-82
8	運営・維持管理費の内訳	A-84
9	参考資料／その他の資料・情報リスト	A-86



- 《凡例》
- — — 国境
 - - - - 県境
 - 市境
 - ==== 河川
 - ==== 幹線道路
 - ==== 一般道路
 - 主要都市
 - 都市
 - 主要空港

調査対象病院

No.	病院名称
R1	リベラルタ総合病院

調査対象保健センター

No.	保健センター名称
R2	ロス・クマリンドス
R4	クルマ
R5	レネ・サッリール
R6	フエロ・ヌエボ
R7	ラウニダ
R8	コナ
R9	エル・セリート
R10	クリスト・レイ
R11	サン・アンドレス
R12	サン・ホセ

調査対象保健センター

No.	保健センター名称
G7	ロリリオ・デル・ソク

調査対象保健センター

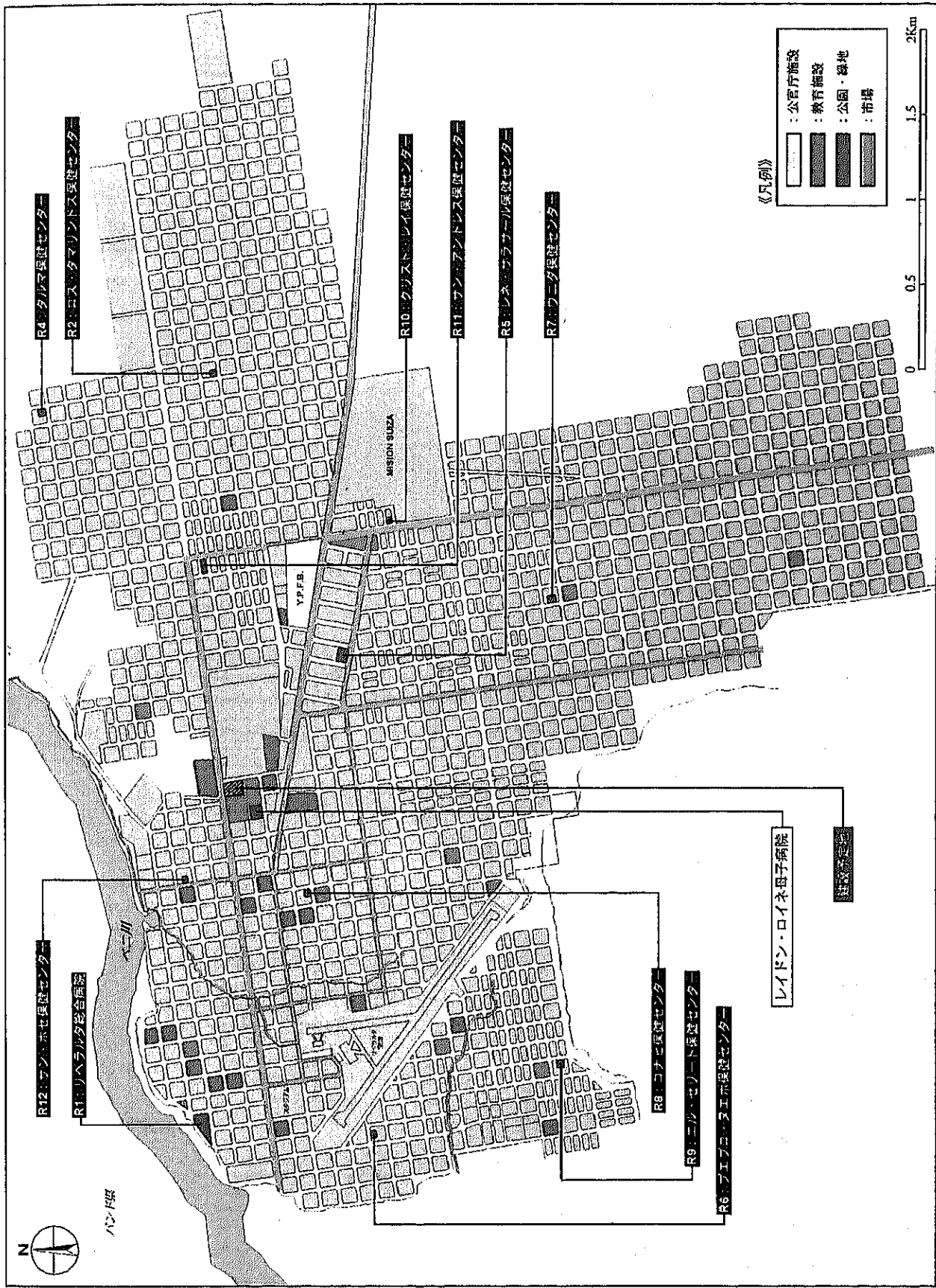
No.	保健センター名称
R3	サン・アントニオ (プロジェクト対象外)

調査対象保健センター

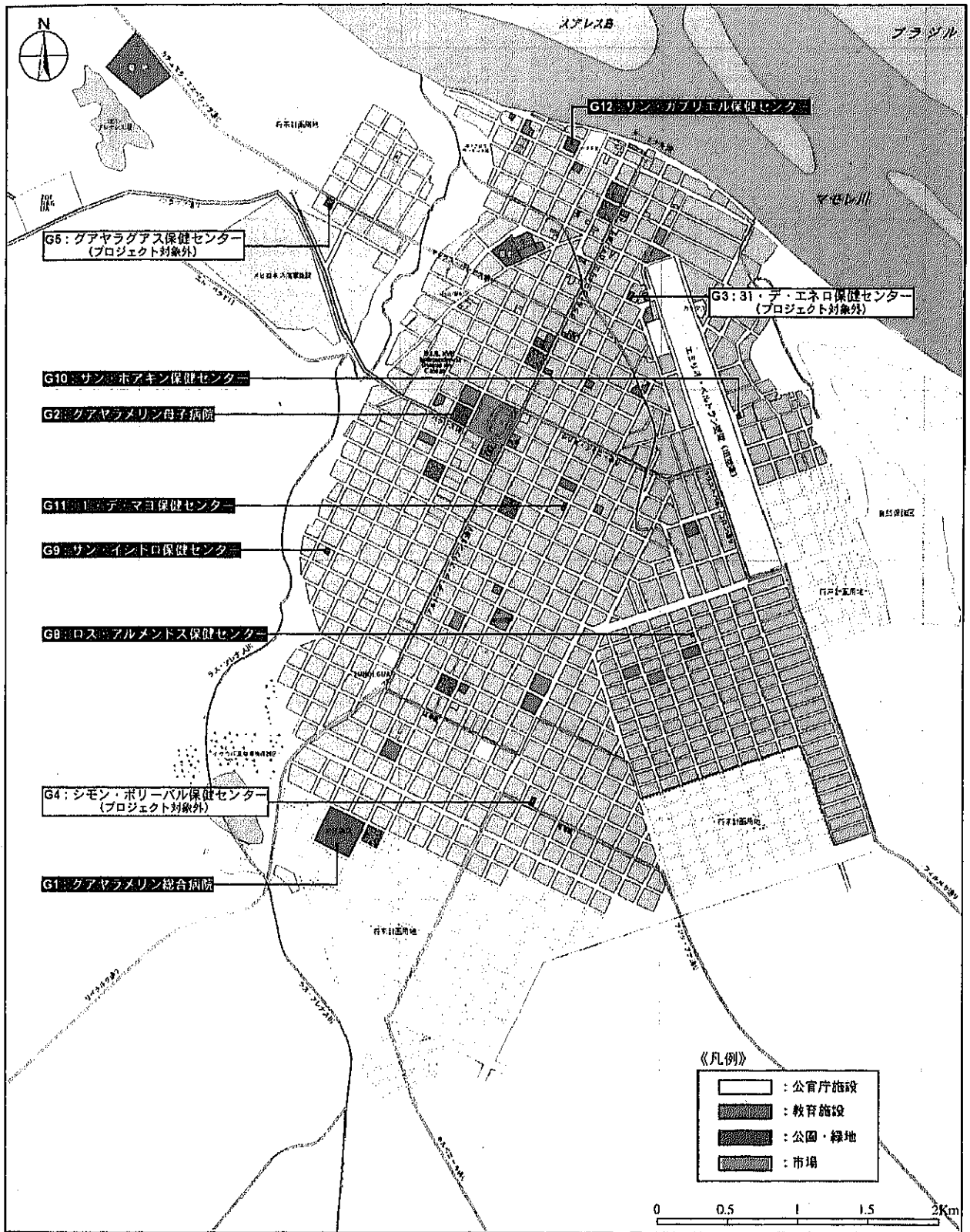
No.	保健センター名称
G3	31・デ・エネロ (プロジェクト対象外)
G4	シモン・ボリーバル (プロジェクト対象外)
G5	グアヤラグアス (プロジェクト対象外)
G8	ロス・アルメンドス
G9	サン・インドロ
G10	サン・ホアキン
G11	サン・マヨ
G12	サン・カプリエル

調査対象地位置図





調査対象地位置図ーリベラルタ市街地



調査対象地位置図ーグアヤラメリン市街地





完成予想図（リベラルタ総合病院）

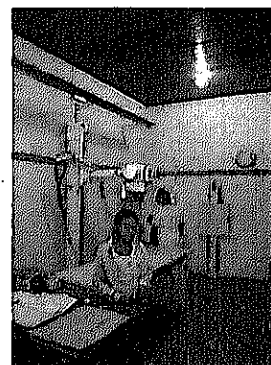
現地状況写真

サイト No. R1 リベラルタ総合病院



■リベラルタ総合病院（既存施設）の前面道路側からの外観
市街地の東端に立地する。病院創設は1945年。65年を経た平屋建ての
病院施設は老朽化が著しい。また、施設背後にはベニ川が迫る。

■救急外来待合室
廊下と待合いを兼ねるが狭小。



■救急外来の処置室
3名が収容可能であるが、狭小で診察
台間に十分なスペースが取れない。

■外来診察室
超音波検査室を兼ねる。
狭小で照度も低い。

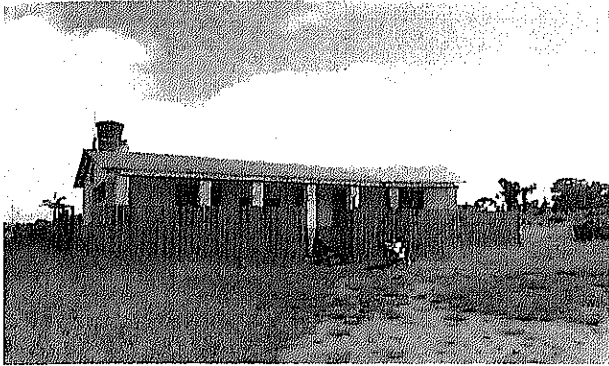
■X線撮影室
機材自体は2008年に導
入したもの。



■手術室
2室ある手術室の
一つ。

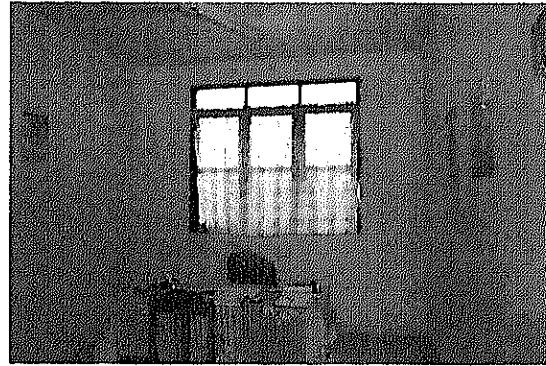
■移転・新築用地
リベラルタ市内の森林公園内のサッカー場・約1.2haが移転・新築用地
に充てられている。敷地は母子病院の直近で大型幹線道路に接している。
なお、敷地は平坦に見えるが、南から北へ緩やかな勾配がある。

サイト No. R2 ロス・タマリンドス保健センター



■施設全景

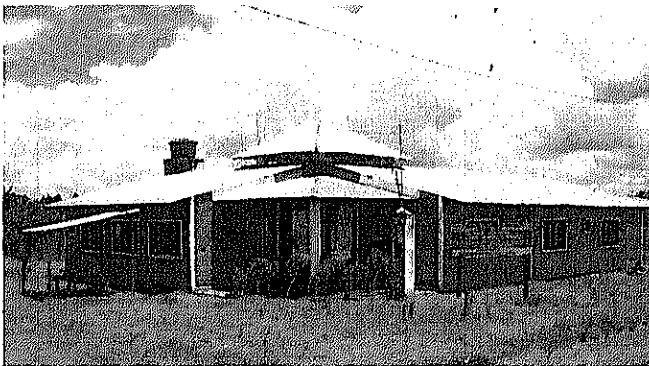
リベラルタ市街の東端寄りに2009年の半ばに創設された真新しい保健センター。



■診察室

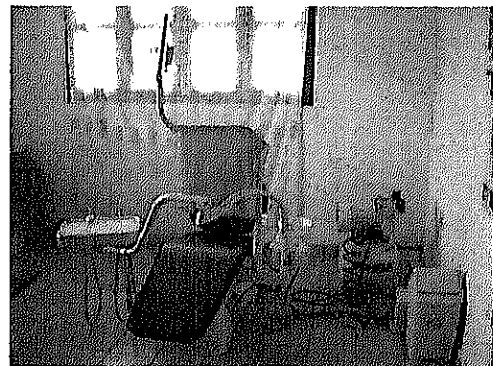
2室ある診察室の一つ。採光窓が大きく室内は明るい、機材類の不足が目立つ。

サイト No. R4 タルマ保健センター



■施設全景

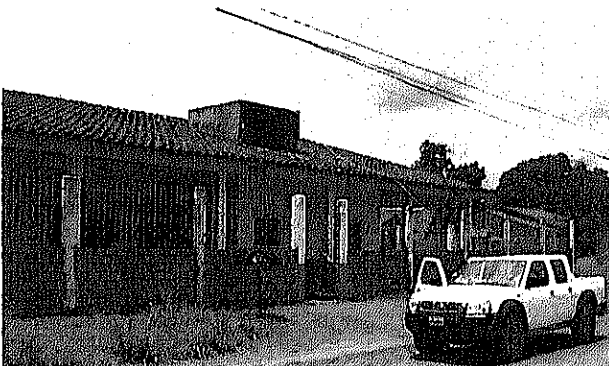
リベラルタ市街東端寄りに立地。建物の隅角部にエントランスを配した保健センター。2008年創設。



■歯科診療室

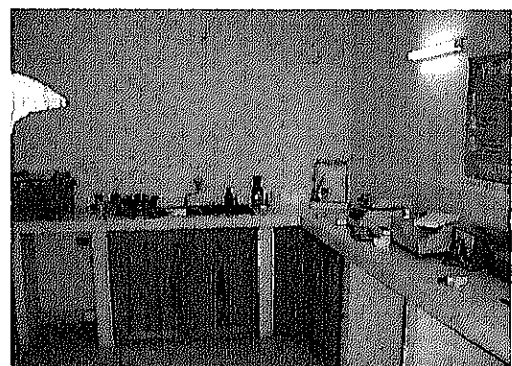
2009年に導入された歯科診療台。

サイト No. R5 レネ・サラサール保健センター



■施設全景

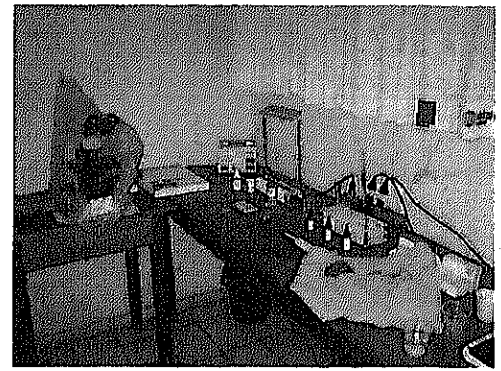
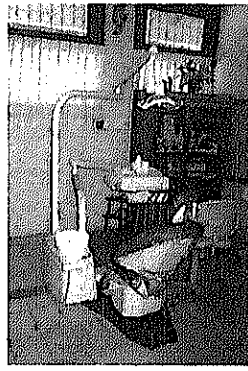
リベラルタ市街地の概ね中央に立地する保健センター。2002年の創設。



■マラリア検査室

当センターは別館を備え、マラリア専用の検査室を有する。

サイト No. R6 プエブロ・ヌエーボ保健センター



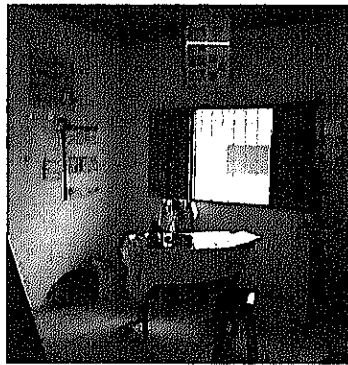
■施設全景

リベラルタ空港の直近に立地。1984年創設の保健センター。年間患者数約1.9万人は調査対象センターでは2番目。

■歯科診療室

■検査室

サイト No. R7 ラ・ウニダ・ファウベル保健センター



■施設全景

リベラルタ市街の中央南、新興住宅地域寄りに立地。施設はやや大きく2棟で構成。1991年の創設。

■結核対策室

結核患者に対してDOTSの対応を実施している。

■検査室

当センターは検査室を2室有し、検査技師1名とマリア検査員1名を擁する。

サイト No. R8 コナビ保健センター

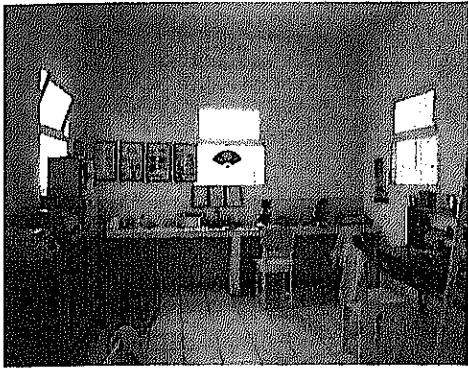


■施設全景

リベラルタ市街の東寄りに立地。1983年創設。母子病院が2007年に移転するまで、当施設に同居していた。年間患者数約1.2万人は調査対象センターで4番目。

■診察室

2室ある診察室の一つ。清掃が行き届き清潔さが保たれている。



■検査室

機材には更新時期に近いものも含まれるが、保守が厳格に行われている。



■歯科診療室



■薬局

薬品はSUMI、SUSA、SSPAMの保険別に整理される。

サイト No. R9 エル・セリート保健センター



■施設全景

リベラルタ市街の東南端に立地し、2002年の創設。年間患者数約1.4万人は調査対象センターで3番目に多い。調査対象では唯一、手術室を備える。



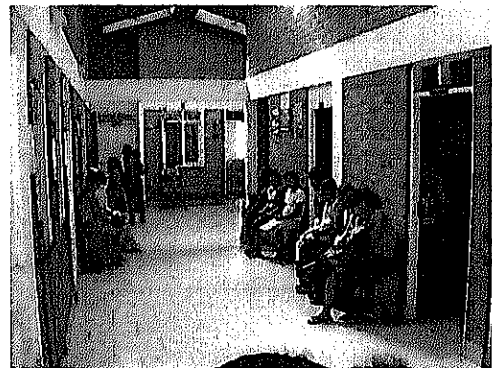
■看護師詰所兼カルテ室

サイト No. R10 クリスト・レイ保健センター



■施設全景

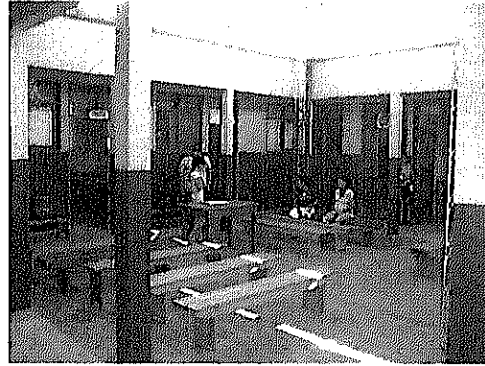
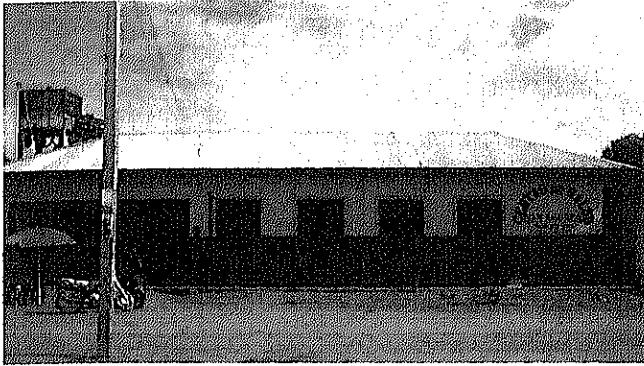
リベラルタ市街の概ね中央、R5 レネ・サラサールの近くに立地。2004年の創設。医師配置4人は調査対象センターで最も多い（通常配置は1~2名）。



■待合ホール

待合を兼ねた中央廊下にはゆったりとしたスペースが確保されている。

サイト No. R11 サン・アンドレス保健センター



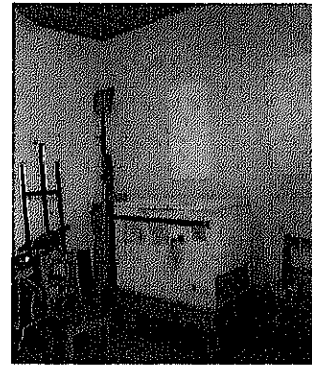
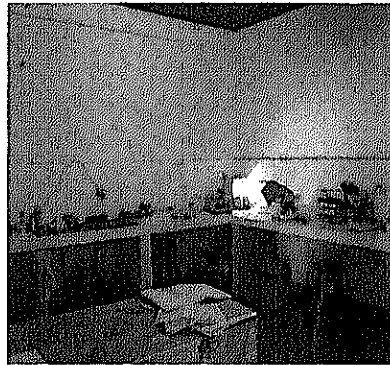
■施設全景

リベラルタ市街地の中央やや東寄りに立地し、1992年の創設。施設平面はほぼ完全なパティオ（中庭）形式を取る。

■中庭

待合として利用されている中庭。診察室、検査室、結核対策室等が中庭へと繋がり、自然通風が確保される。

サイト No. R12 サン・ホセ保健センター



■施設全景

リベラルタ市街地の北西寄りに立地する。R8 コナビと同様の古さ。

■検査室

機材には、過去複数のドナーから供与されたものが混じる。

■倉庫兼リネン保管庫

冷蔵庫は日本から供与されたもの。

サイト No. G1 グアヤラメリン総合病院



■メイン・エントランス

市街地南端に立地する。当地への移転・新築は2006年。

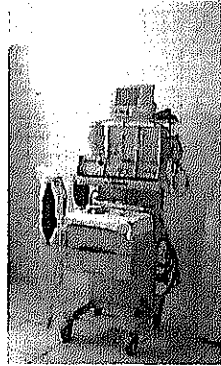
■外来診療棟エントランス

外来診療室は6室で構成される。診療業務にはキューバ人医師団が協力中。

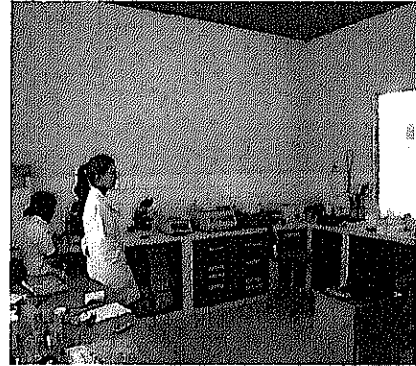
■救急処置室



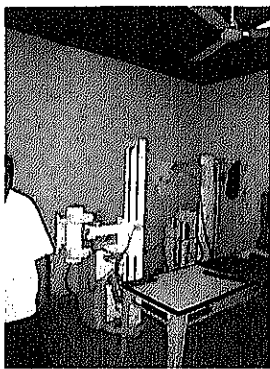
■手術室
2室ある手術室のうち、1室は空調が機能していない。分娩室も空調なし。



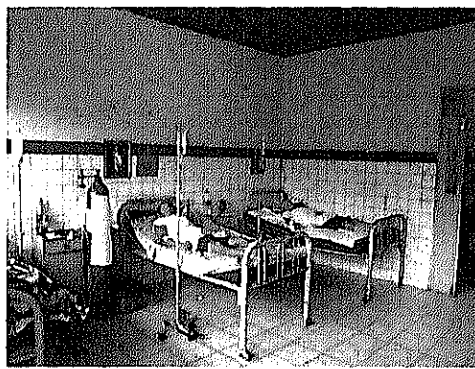
■同左
麻酔器



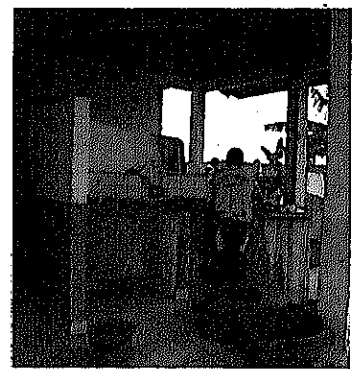
■検査室
マラリア検査が多く、1日当たり平均10~15件が処理される。



■X線撮影室
1995年導入の中国製機器。



■病床(5床室)
病棟は5床室(4室)と2床室(2室)で構成される。



■洗濯室
洗濯業務は手洗いに頼る。

サイト No. G2 グアヤラメリン母子病院



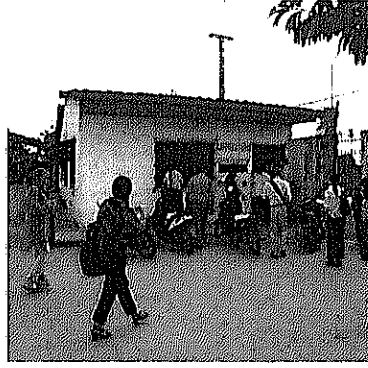
■メイン・エントランス
グアヤラメリン市街地の概ね中央に立地。2007年に総合病院から分離・独立し、旧民間保健センター施設を利用して運営を開始。



■待合いホールとナースステーション
背後には婦人科診察室が2室備わり、ナースステーションを中心に総勢36名の正・准看護師が立ち回る。



■婦人科診察室
膣口鏡による診察手順をヒアリングする調査団。



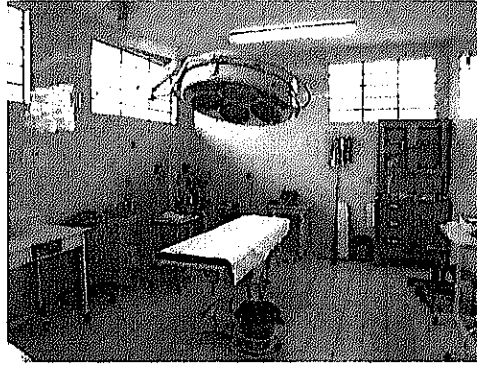
■検査棟
内部には血液検査室と生化学検査室の2室を備える



■生化学検査室
検査業務としては尿・寄生虫検査が多い。



■新生児室
隔壁で二分された室内。保育器等が並ぶ。

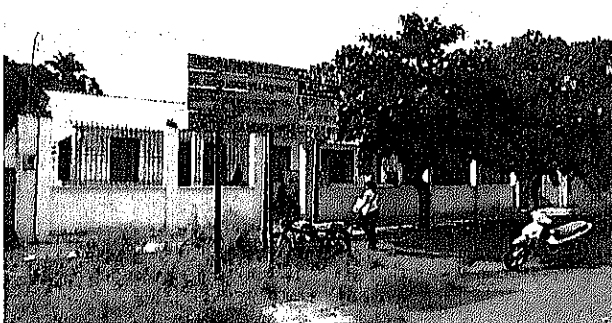


■手術室
手術室は、陣痛室・分娩室・新生児室とともに病棟奥に2室設置されている。



■分娩室

サイト No. G3 31・デ・エネロ保健センター

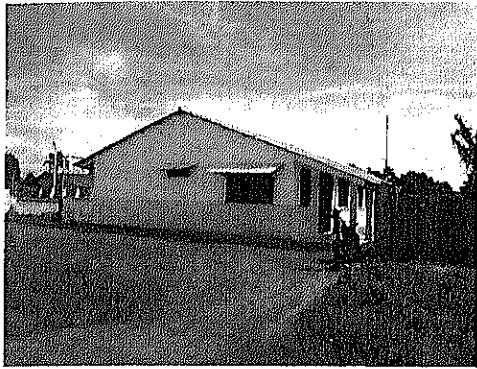


■施設全景
港から南方約1 kmに立地し、2009年半ばから運営を開始。当施設と以下のG4、G5の3者は2009年に建設され、全く同一の間取り。3施設ともキューバ人医師の協力を得て診療業務が行われている。



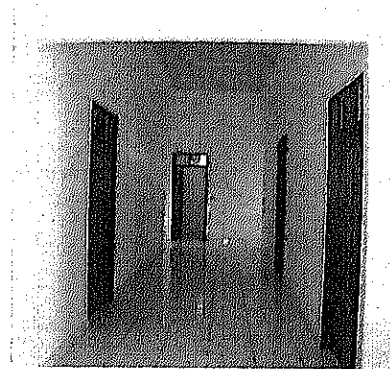
■診察室
施設は真新しく、机・椅子などの家具は備えているものの、医療機材は全く整備されていない。

サイト No. G4 シモン・ポリール保健センター



■施設全景

グアヤマルインの市街地の南端、総合病院近くに立地するセンター。2009年後半から運営を開始。



■中央廊下

施設は新しく、清掃も行き届き光沢を放つ。



■診察室

医師1名（キューバ人）、医学生2名の配置。機材は皆無。

サイト No. G5 グアヤラグアス保健センター



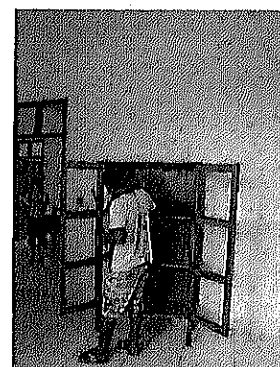
■施設全景

グアヤラメルインの市街地の北西端に位置し、2009年に建設完了、2010年3月から運営を開始。



■診察室

上記2者と同様、医療機材は皆無である。



■家具の組み立て
医薬品収納用戸棚にガラスを挿入中。

サイト No. G6 カチュエラ・エスペランサ保健センター



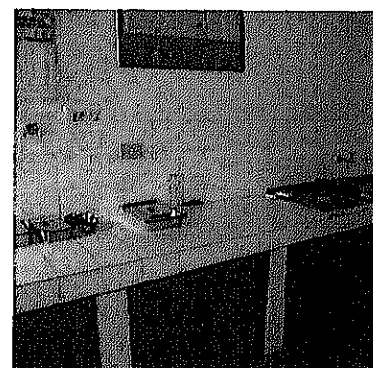
■施設全景

グアヤラメルインの市街地から北西約40kmの遠隔地に位置し、2001年の創設のセンター。



■分娩室

医師1、准看護師1、マリア検査員1の要員配置は調査対象で最少。



■検査室

マラリア専門の検査員1名により検査が実施されている。